

週刊(毎日曜日発行)

2013年9月8日(日)

第1805号・別刷り

発行所 東京民報社

〒105-0014 東京都港区芝1の4の9平和会館5階

電話 03(3798)4030

FAX 03(3798)4032

定価1ヶ月400円(消費税20円含む)

送料200円一部100円(消費税込み)

郵便振替 00110-1-133413

E-mail tokyominpo@nifty.com

Web http://www.tokyo-minpo.jp/

購読のお申し込みは

電話 03(3798)4030

PR版

# ブラック企業徹底追及 原発再稼働

## いま話題の「東京民報」とは



好評連載中  
「吉良佳子☆  
キラキラ☆国会のおと」  
(月一回)

7月の参院選で初当選した吉良佳子さん。国会で追及する姿が紙面を飾る日も、そう遠くはない

### 再週刊化5周年を迎えました

東京民報は今年で、2008年の再週刊化から5周年を迎える。読者の皆様をはじめ、この間支えていた多くの方々に深く感謝します。

実態、各地・各分野のさまざまな運動を伝え、多くの読者の方から多くの評価をいただいてきました。都議選・参院選をはじめ多くの選挙では、争点や政

能問題など、知りたいことを教える。読者からも「外環道や放射能問題など、挙げれば切りがない。地域、東京をつくりたいと活動する草の根の市民運動を、市民線で取り上げるのも東京

大開発五輪招致問題、福祉切り捨てなど、挙げれば切りがない。読者からも「外環道や放射能問題など、知りたいことを教えてもらっている」との反響がある。

生活や環境を守り、住みよい

「ブラック企業」化する大企業

を告発して話題を呼んだ「東京民報」号外。

入社2カ月で過労自殺に追い込んだ居酒屋チェーン店ワタミの「ブラック」ぶりは、日本共産党議員の国会追及で白日の下

例えば、先にあげたブラック企業もそうだが、東京電力福島第1原発事故による東京の放射能汚染の実態、東京の大開発五輪招致問題、福祉切り捨てなど、挙げれば切りがない。読者からも「外環道や放射能問題など、知りたいことを教えてもらっている」との反響がある。

生活や環境を守り、住みよい

「ブラック企業」化する大企業

を告発して話題を呼んだ「東京民報」号外。

入社2カ月で過労自殺に追い込んだ居酒屋チェーン店ワタミの「ブラック」ぶりは、日本共産

党議員の国会追及で白日の下

にないユニークな存在といえる。しかも、その報道内容は、スポーツを持つ一般紙を取り上げることができないものも多い。

### 他紙にない切り口 市民メディア担う

例えば、先にあげたブラック企業もそうだが、東京電力福島第1原発事故による東京の放射能汚染の実態、東京の大開発五輪招致問題、福祉切り捨てなど、挙げれば切りがない。読者からも「外環道や放射能問題など、知りたいことを教えてもらっている」との反響がある。

生活や環境を守り、住みよい

「ブラック企業」化する大企業

を告発して話題を呼んだ「東京民報」号外。

入社2カ月で過労自殺に追い込んだ居酒屋チェーン店ワタミの「ブラック」ぶりは、日本共産

党議員の国会追及で白日の下

「東京が見える、東京を変えられる新聞です」。荒金哲編集長は、すばりこう語る。政治・経済の機能が集中し、1300万人が暮らし、働く首都東京。政治・経済の歪みによる矛盾も、また集中するのが東京だ。いかに巨大マスメディアが発達していくとも、切り捨てる問題は山積する。そこで、毎週4ペーすべてを東京の記事で埋める「東京民報」は、他紙にはないユニークな存在といえる。

しかも、その報道内容は、スポーツを持つ一般紙を取り上げることができないものも多い。

民報ならではだ。

そして、もう一つ。こうした市民運動と連携して奮闘する日本共産党的議会活動を詳しく報道するのも「東京民報」をおいて、まずいだろう。石原都政の継承を公言する猪瀬直樹知事と正面から論戦を張るのは、「オール与党」の都議会にあって、日本共産党のほかにない。17議席に倍増した同党の論戦は、都政の台風の目になるのは間違いない。その活躍ぶりを含め、まさに他紙とはひと味も、ふた味も違う「東京」を見ることができる貴重な新聞なのだ。

ある著名な経済評論家は原発報道に関連して、「いま、この国で欠けているものの一つ、それがほんものの『市民メディア』です」と指摘した上で、「東京民報」に対し「どうか頑張ってほしい」と、その役割を担うことに対する期待を寄せた。

### 聞いと連携 はげます報道

課題もある。読者がまだ少ないとことだ。経営上は言うに及ばず、「東京を変える」には、現在の発行部数では力不足だと誰の目にも映るだろう。

### 東京変える新聞 読者増が力ギ

「ブラック企業」を国会で追及する吉良佳子参院議員の姿を、東京民報紙上で届けられるのも、そう遠くはないだろう。

「ブラック企業」を国会で追及する吉良佳子参院議員の姿を、東京民報紙上で届けられるのも、そう遠くはないだろう。

しかし、根絶にはほど遠いのも現実だ。「少年チャンピオン」などのマンガ雑誌で知られる秋田書店(本社・千代田区)は、読者プレゼントを水増ししていた女性社員(28)に、すべての罪を負わせて懲戒解雇している。

しかし、根絶にはほど遠いのも現実だ。「少年チャンピオン」などのマンガ雑誌で知られる秋田書店(本社・千代田区)は、読者プレゼントを水増ししていた女性社員(28)に、すべての罪を負わせて懲戒解雇している。